

持田 裕之（もちだ ひろゆき）  
ヒロユキ モチダ ホースマンシップ代表  
1965年生まれ。広島県出身、帯広市在住。



20代前半、約3年間をアメリカで生活し、自然への憧れと美しい馬に魅せられ、北海道で牧場主になることを夢見る。帰国後、ナリタブライアンなどの名馬を輩出した早田牧場に就職。プレーキングチームにて、ニュージーランド人のクリストファー・ラスベン氏から「ナチュラルホースマンシップ」の理論に基づく新馬調教を学ぶ。5年後、十勝の花畑牧場へ就職。

ラスベン氏の所属していたナチュラルホースマンシップの教育機関より通信教育を受けるかたわら、ラスベン氏の主催するアメリカテキサス州にある「C&C Colt Company」での研修や、独学で調教法の腕を磨き「花畑牧場ホースショー」を立ち上げる。

2004年4月に独立。農業生産法人有限会社ウエスタンワールド(帯広市)の代表取締役役に就任。乗馬クラブ運営のかたわら、ウエスタン乗馬や「ホースマンシップ」の普及に努める。

また、当時競走馬の中期育成において、コンサイナーとして大きな実績を残したハッピーネモファームへの馴致調教の指導にも関わる。その後「オーストラリアン・ナチュラルホースマンシップ」を主催するケン・フォークナー氏との出会いもあり、北海道にてケンの講習会を開催する。現在は、各地で「ナチュラルホースマンシップ」の理論に基づいた馬との関わり方や、リーディング(引き馬)の方法について講習会を行っている。JRA主催の講習会に同行したのがきっかけで、自身の主催する「D-J RANCH」にてケンの講習会の開催や、オーストラリアで行われているケンのクリニックなどに参加する。

現在は、各地で「ナチュラルホースマンシップ」の理論に基づいた馬本来の性質や行動特性、心理などを理解した馬との関わり方や、リーディング(引き馬)の方法について講習会を行っている。